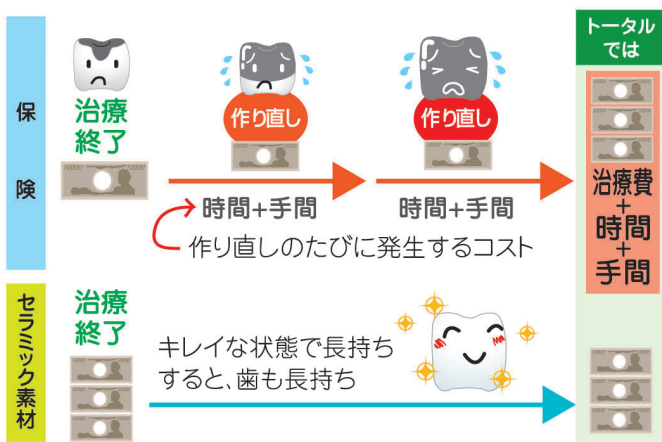


保険、自費、どっちがお得?

治療費の比較は将来のコストも考えよう!

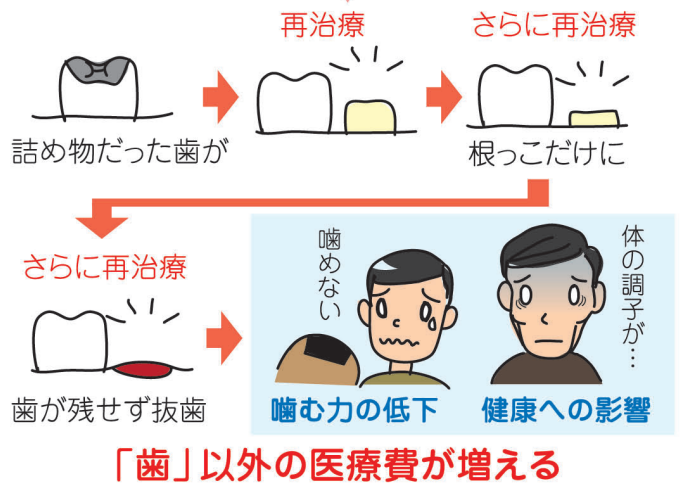
銀歯などの“保険が適用される被せ物”とセラミックなどの“保険が適用されない被せ物”では、将来の再治療のリスクに差がでます。

将来、被せ物などが変色・劣化・破損で作り直しになると、そのたびに治療費・通院の手間と時間といったコストが発生します。費用を比較する上で将来のコストを考慮することも重要です。

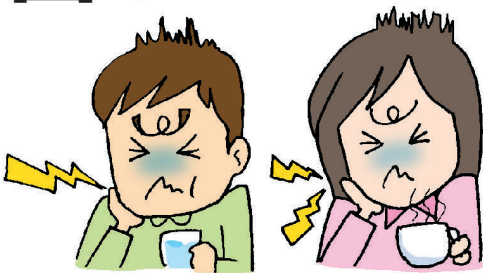


また、治療を繰り返すと、その度に歯は削られ小さくなり、最後は歯を失うことに。歯を失うと噛む力が低下し食事に影響します。食事が快適にできないと「栄養が十分にとれない」「脳への刺激が減る」など、全身の健康にも悪影響を及ぼします。そうすると「歯」以外の医療費が増えることとなります。

被せ物などの劣化、変色、むし歯の再発などで治療を繰り返すと



歯のQ&A



Q 冷たい物を飲んだとき歯がしみます。治療が必要ですか?

A 冷たい物や熱い物を飲んだ時や歯磨きのときに歯がしみるといった症状を知覚過敏といいます。特に治療をしなくてもいつのまにか症状が治まっているということもありますが、むし歯、歯周病、かみ合わせなどが原因の場合は早めの治療が大切です。症状が続く場合は受診することをおすすめします。

次の原因で歯がしみることもあります

むし歯

むし歯が進行し象牙質まで進むと歯の神経を刺激し、水などの冷たい物がしみるようになります。



歯周病

歯周病が進行すると歯ぐきがさがって歯の根元の部分が露出します。歯の根元の部分は柔らかく刺激や温度変化に敏感でしみやすくなります。



かみ合わせ

かみ合わせが悪いと特定の歯にいつも力がかかり、歯の根の部分がかさび状に欠けてしまい神経を刺激します。



歯磨き

歯磨きの力が強すぎたり、間違った方法での歯磨きが原因となる場合もあります。正しい歯磨き方法を身につける必要があります。

